

合同会 日高一夫 会長挨拶

晩夏とはいえ、毎日うだるような暑さが押し寄せていますが、秋のレースへ向かい、愛鳩の管理観察と日々同じことの繰り返しをされておられることでしょう。

この度、宮崎合同会鳩LINEグループを開設しました。今後は、連絡網として放鳩日時等、色々なことで利用していきたいと思います。一部、会員でLINE連絡ができない方は、各クラブ長からの連絡がありますが、連絡を待つばかりでなく、お互いクラブ内において連絡を取り合って頂けたらと思います。

五月の役員会において、餌吐き発生に関し協議しました。餌吐きについての予防、治療に有効と言われる高価な薬をも含め色々と試しましたが、皆さん、何れも効果が得られないとの結論でした。レーススタート前、国見200Kレース以降は毎回コンテナ清掃・消毒を行いますが、餌吐きが見受けられます。レース中に餌吐きが発生した場合、その時の状況次第でレース間隔を変更する、また、何鳩舎以内であれば延期しないなどの処置はとりづらいとの結論でした。この件、今後も発生状況の周知連絡、報告、注意喚起は行っていきます。

「華を支える枝、枝を支える樹、樹を支える根、しかし、その根は見えないものだ。」と言われます。役員それぞれの苦労は、その見えない根と同じで、役員をしてみないとそのその大変さは見えないもの。そう、感じております。

2026年8月23日



宮崎南支部 戸高文彦 支部長挨拶

今春の作出も終わり、訓練も忙しくなる頃だと思います。
今春のレースは、全体的に帰還率は良かったんじゃないかと思います。
特に、500K・700Kレースは、近年では特に良い結果だったと思います。
これも、競翔委員長 吉本氏、合同会会長 日高氏の天候の読み努力が
あったからだと思います。感謝したいと思います。

さて、秋レースもやがて始まります。年々、鳩レースの運営も厳しく
なっています。秋レースにも多くの鳩舎が参加してもらえることを願
います。

宮崎支部 齋藤浩二 支部長挨拶

九州南地区支部合同会の50鳩舎においては、皆さんそれぞれに愛鳩の
飼育環境改善にも、日々、工夫努力を為されていることと思います。

色々な原因による愛鳩の病気は、単に自舎だけの問題だけに止まらず
他舎にまで迷惑をかけてしまいます。専門的な知識も持たないままに
対処することに問題があるのかもしれません。今後、獣医などを招聘し
何らかの勉強会等を、合同会として企画する事も考えられます。

何れにしても、レース鳩飼育環境全般に関し、一鳩舎だけで対処せず、
良い方策があれば共有し、悪いことが起これば素早く連絡網を活用し
いち早く愛鳩の使命を守ってあげることも飼育者の、そして、合同会
会員の責務かもしれません。

今期、秋のレースも始まろうとしている今、皆さんで愛鳩を育て、
大いに活躍してくれることを祈念してやみません。